



教育支援センターだより

12月号 令和6年度 第9号
令和6年 12月18日発行(通算177号)

鴻巣市立教育支援センター

〒365-0004 鴻巣市関新田1281番地1
TEL 048-569-3181
FAX 048-569-1773

花かおり
緑あふれ
人輝くまち
こうのす

- 教育相談事業
- 適応指導教室事業
- 特別支援教育事業
- 研修事業
- 家庭地域連携事業

元気・勇気

スクールソーシャルワーカー 岩崎 広巳



皆さん、こんにちは。突然ですが、生まれたての赤ちゃんの両手を思い描いてください。寝ている時も起きている時もグーではなかったですか(時々驚くとその手が瞬間的に開くこともあります)。そのグーの中には、何が入っているのでしょうか？ある人から「お母さんのおなかの中で、まだ見ぬ世界でやりたいこと・見たいもの・聞きたい音・感じたいこと・食べたい物等、たくさんの夢や希望が入っているのだ」と聞きました。その後、手は使うために、グーがパーになっていきます。入っていたものは、ひとつまた一つとなくなってしまいます。私は、皆さんになんとしても両方の手のひらに最後の一粒として貼りつけておいて欲しいものがあります。それは、右手に「元気」左手に「勇気」です。どんな時でも自分が「元気」であれば周りに伝染し、明るくすることができます。また、何かをするには「勇気」が必要です。振り絞った最初の「勇気」が次の「勇気」に繋がります。勇気を出すことができた時、今までと違う自分に出会うことができます。

私は、平成2年から埼玉県の高次教育相談研究会に所属し、相談活動を行ってきました。教員生活も終わりに近づいた3年前、スクールソーシャルワーカー配置の高校に初めて赴任しました。その学校は、スクール・カウンセラー(週1日)、スクールソーシャルワーカー(週3日)、教育相談員(週4日)が配置されている埼玉県でも数校しかない学校でした。複数の相談窓口が学校の中にあるということは、生徒さん・保護者の方・先生にとってとてもありがたい環境でした。

あるドラマで「一人で生きてやる！」と言い張っていた高校生に、一人で頑張っている先輩が「一人で生きていきたいなら、頼れるものは全部頼れ！」と言っている場面がありました。私たちは、周りに頼ってもいい人がいるのに気付いていないことが多いと思います。気付いても頑なになってしまい声に出せないこともあります。話をするだけで気持ちが整理できたり、解決に向けた違う方法を見つけられたりすることもあります。「勇気」を出してみませんか。

私が、スクールソーシャルワーカーをやりたいと思ったのは、思いを上手く伝えられないでいる人がいたら、その人の相談できる人の一人になりたいと思ったからです。

「わけ登る ふもとの道は多かれど 同じ高嶺の 月をみるかな」 一休

沢山の道から、登る道を一緒に考えさせていただけませんか。

LET'S coloring 今年のアルファベット

年の瀬にあたり、教育支援センターの1年間を「今年の漢字」ならぬアルファベットで振り返ってみました。今年も多くの方々にお世話になり、誠にありがとうございました。どうぞ皆様、良い年をお迎えください。

- 2学期から、市内3校で校内教育支援センターが本格始動しました。愛称は「With」です。
- 栄養講座や施設見学、ニュースポーツ等、Let's教室のイベントが充実しました。教室では個別の自主学習が中心ですが、体験活動で「We意識」も共有できました。
- ふるさと館の桜19本に、クビアカツヤカミキリの被害が確認されました。汗だくの市担当者による薬剤注入とネット装着の「Wの対策」に感謝。
- 夏から秋、センター前の花壇は「玉すだれ」の花で賑わいました。花びらが真っ白で凛々しいこの花の英名は、「White rain lily」です。



11月の相談状況 258件

相談内訳	R6. 11月	R6. 10月
電話	93	96
相談者来所	87	95
相談員等の学校等への訪問	78	215

主な相談者別内訳

小学生保護者	67	43
未就学児	43	45
年長児保護者	43	138
小学生	31	67
小・中教職員	28	47

主な相談内容

不登校	60	64
特別支援	56	80
就学	52	71
性格・行動	36	156

ウイング・ステップ担当者研修会 12/5(木)



- 鴻巣市内の通級指導教室
- 「ことばの教室」(難聴・言語障がい)
鴻巣東小・吹上小
 - 「ウイング」(発達障がい・情緒障がい)
鴻巣南小・赤見台第二小・吹上小
 - 「ステップ」(発達障がい・情緒障がい)
鴻巣中・赤見台中

シリーズ

0歳～15歳までの一貫した教育の推進 SC と SSW

不登校の児童生徒数・いじめの認知件数ともに、全国的に年々増加しています。また、非行・暴力行為や児童虐待も多く、子どもたちは周囲を取り巻く環境や自身の健康・学習上の不安など、様々な悩みを抱えています。これらに対し、専門的な立場からサポートにあたるのがスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーです。



名称	SC(スクールカウンセラー)	SSW(スクールソーシャルワーカー)
人材	児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有する者	教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や経験を有する者
主な資格	公認心理師、臨床心理士、精神科医 等	社会福祉士、精神保健福祉士 等
手法	カウンセリング(子どもの心のケア)	ソーシャルワーク(子どもが置かれた環境(家庭、友人関係等)への働きかけ)
配置	学校、教育委員会 等	教育委員会、学校 等
主な業務内容	① 個々の児童生徒へのカウンセリング ② 児童生徒への対応に関し、保護者・教職員への助言 ③ 事件・事故等の緊急対応における児童生徒等の心のケア ④ 教職員等に対する児童生徒へのカウンセリングマインドに関する研修活動 ⑤ 教員との協力の下、子どもの心理的問題への予防的対応(ストレスチェック等)	① 家庭環境や地域ボランティア団体への働きかけ ② 個別ケースにおける福祉等の関係機関との連携・調整 ③ 要保護児童対策地域協議会や市町村の福祉相談体制との協働 ④ 教職員等への福祉制度の仕組みや活動等に関する研修活動

埼玉県教育委員会生徒指導課「スクールソーシャルワーカー活用ハンドブック」より

12・1月の行事予定

月	日	曜	行事
12	5	木	ウイング・ステップ担当者研修会
	10	火	教育相談担当者・さわやか相談員連絡会議②
	16	月	Let's教室 2学期終業式・保護者会
	26	木	まなびの教室 14:00
1	14	火	Let's教室 3学期始業式
	21	火	Let's教室 トレーニング(かわさと館)
	21・22	火水	県立特支高等部職業学科・分校入学選考
	23	木	まなびの教室 14:00

※予定は、都合により変更になる場合があります。

Let's教室の2学期

